

「都市政策の基本的な課題と方向検討小委員会」プレゼン・レジュメ

2008. 9. 9

武内和彦

グローバルな視点とローカルな視点を融合させる政策が必要

- ・ 地球持続性は 21 世紀最大の課題であり都市の持続可能性が決定的に重要
- ・ 他方、都市の魅力と活力を維持するために個性に富む都市づくりが必要
- ・ 両者には乖離が認められ、双方の視点を融合した新たな政策を展開すべき
- ・ 低炭素社会とヒートアイランド対策、生物多様性保全と都市緑地保全など
- ・ 普遍的でグローバルな課題に対して、個性的でローカルな解答を見いだす

都市と農村を融合した都市計画の法体系を構築することが必要

- ・ 都市計画法と農振法による土地利用調整は、都市と農村の棲み分けを重視
- ・ 人口減少時代を迎えて、都市と農村が持続するための共存融合政策が必要
- ・ 平成の市町村合併は、都市農村を一体化した都市計画策定に大きく貢献
- ・ 都市農村融合は持続型社会(低炭素・循環型・自然共生社会)を促進させる
- ・ 都市農村融合の推進は、都市農村交流と農村地域の活性化にもつながる

公園緑地政策を発展させた総合的ランドスケープ基本計画の策定が必要

- ・ 公園緑地・景観課が誕生したように、公園緑地政策は景観政策と融合し発展
- ・ さらには、生物多様性や生態系ネットワークなども取り込んでいく必要がある
- ・ それらを総合する政策として EU ではランドスケープ条約の下で計画が定着
- ・ ランドスケープは人間・自然関係とその空間的現れを表現した世界共通語
- ・ 緑の基本計画、景観計画などを内包するランドスケープ基本計画を策定すべき

アジアに共通する都市政策についての交流促進と国際協力の推進

- ・ 日本を含むアジア、とくに東アジア、東南アジアにある自然的、歴史的共通性
- ・ 都市についても、モンスーンデルタ都市など都市発展と都市問題に共通性
- ・ アジア的視点での共通都市政策の展開は、問題解決にも大きく貢献するはず
- ・ また、そうした視点での相互交流と国際協力を通じて、友好関係の構築に貢献
- ・ こうした国際連携の推進は、アジアの持続性のみならず地球持続性にも貢献